

ま ち の 借 金

**学**校や公園などの施設の建設には、多額の経費がかかりますので、国や銀行などからお金を借りています。借り入れたお金の返済を通じて将来の利用者にも公平に負担していただいています。

総額 672億108万円  
市民一人あたり 73万円

市が借りているお金（市債）の状況

一般会計の借入	352億488万円
特別会計の借入	4億6,121万円
公営企業会計の借入	315億3,499万円
合計	672億108万円

財政健全化を判断する指標

財政の健全性を判断する指標では「財政健全化法」の基準を超えるものはなく、健全な状況といえます。

指標	説明	千歳市の比率	早期健全化基準	財政再生活基準
健全化判断比率	実質赤字比率 一般会計などの赤字の状況を指標化したもの	—	12.53%	20.0%
	連結実質赤字比率 すべての会計を合算して市全体の赤字の状況を指標化したもの ※	—	17.53%	40.0%
	実質公債費比率 すべての会計のその年の返済額を指標化したもの	11.4%	25.0%	35.0%
	将来負担比率 市が将来負担しなければならない借入金などの状況を指標化したもの	110.8%	350.0%	
資金不足比率（公営企業ごと）	公営企業の内部留保資金不足を収益と比較して指標化したもの	該当会計なし	20.0%	

※公営企業の赤字は、内部留保資金がなくなり資金不足になった状態をいいます。

記事の  
お問い合わせは  
**総務部**  
**財政課財政係**  
☎(24) 0541

**市**は、市政を進めていくうえで必要な財産を保有し、目的に応じて効率的な運用をしています。財産には、公園や学校などの土地や建物をはじめ基金や証券などがあります。

ま ち の 財 産

土地 1,434万7,804㎡  
建物 45万4,591㎡

土地と建物

財産区分	土地	建物
行政財産	1,177万1,370㎡	44万1,401㎡
公用財産	143万232㎡	4万7,916㎡
公共用財産	1,034万1,138㎡	39万3,485㎡
普通財産	257万6,434㎡	1万3,190㎡
合計	1,434万7,804㎡	45万4,591㎡

「公用財産」：市役所など市が直接使用する財産  
「公共用財産」：学校、公園など市民が使用する財産  
「普通財産」：公用財産・公共用財産以外の財産

**有価証券（株券や債権など）**  
33億5,707万円

**出資による権利（法人への資本金出資など）**  
4億6,674万円

**基金（まちの貯金）**  
73億6,544万円

**基金とは**  
市は、現在、財産の維持、資金の積み立てや資金の運用のために、目的別に16の基金を設けています。  
○財政調整基金 ○農業振興基金 ○奨学基金  
○公共施設整備基金 ○国民健康保険事業財政調整基金  
○土地開発基金 ○みんなで、ひと・まちづくり基金  
○減債基金 ○地域福祉振興基金 ○霊園管理基金  
○ふるさと千歳国際交流基金 ○職員退職手当基金  
○介護保険事業給付費準備基金 ○特定地域振興基金  
○心のふるさと千歳基金 ○介護従事者処遇改善臨時特例基金

平成20年度の決算は、市民の皆さんのご協力で財政健全化対策の成果が着実に現れ、一般会計では収支不足として予定していた基金からの繰り入れをすることなく決算をし、また、各特別会計についても黒字決算となりました。財政の健全性を判断する国が示す4つの指標はすべて早期健全化基準を下回っており、千歳市の財政は安定した状況であるといえます。

しかし、歳入面では国内景気の低迷から市税収入の増加は見込めず、また歳出面では子どもや高齢者への支援など社会保障費が増加することが予想され、これからも厳しい財政状況が続くと考えられます。

「特集」でお知らせしたように、今後とも財政収支の均衡を踏まえた「より財政の健全なまち」を目指した財政運営を進めたいと考えています。引き続き、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。